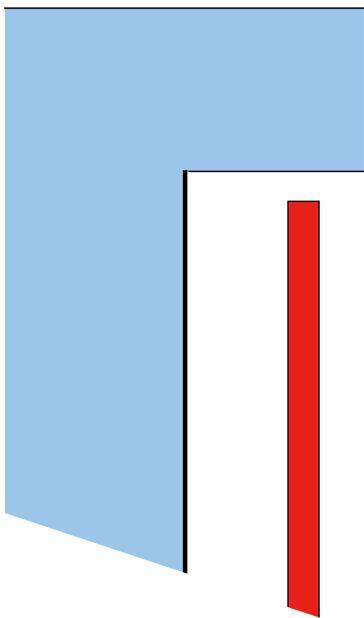
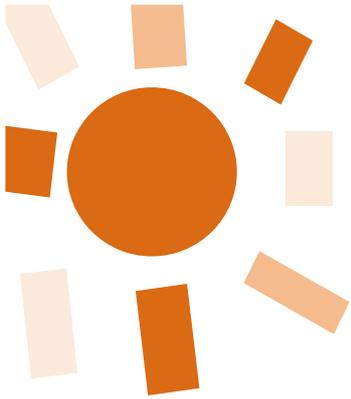


パラライズ®

防水立上り部乾式保護工法



あご下タイプ

ホルダー方式

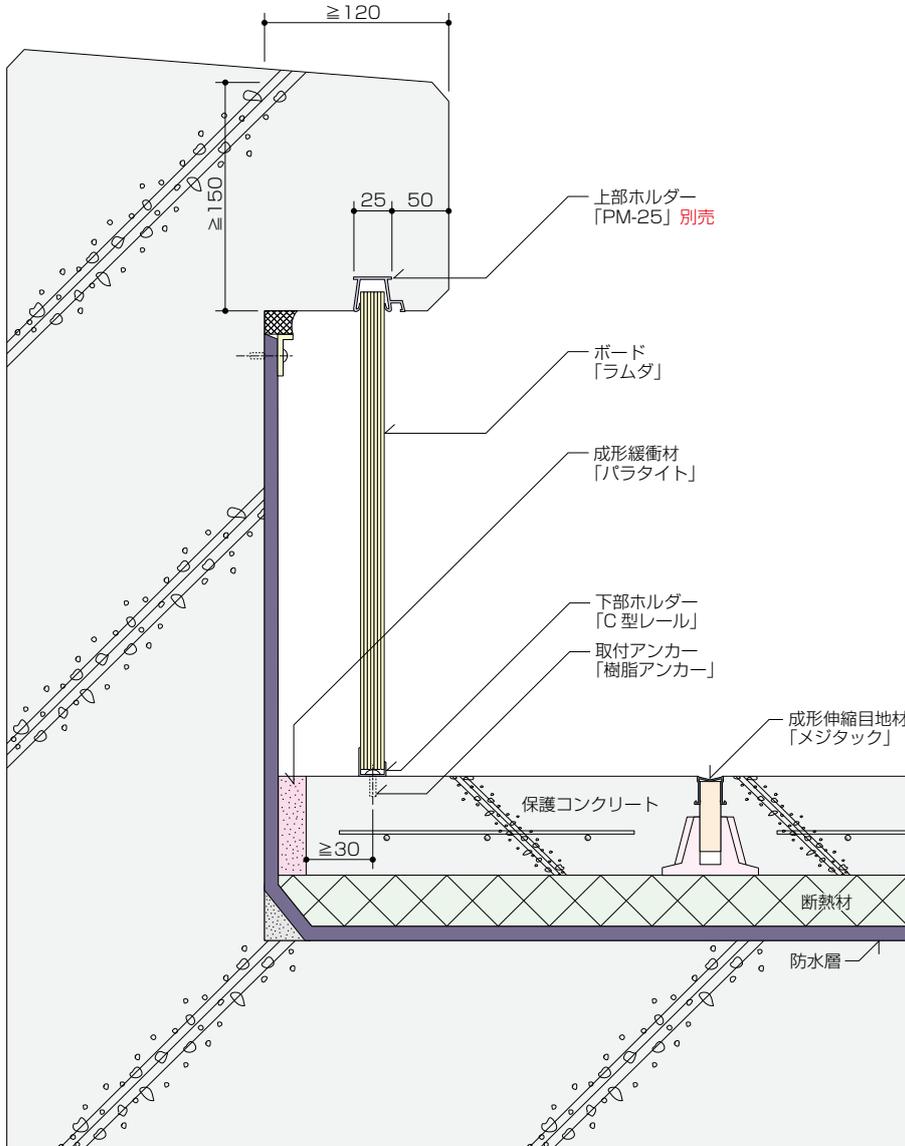
上部ホルダー : ボード用目地「PM25」

下部ホルダー : C型 レール

直取付方式

上部ホルダー : 水切り目地棒 25×25×20

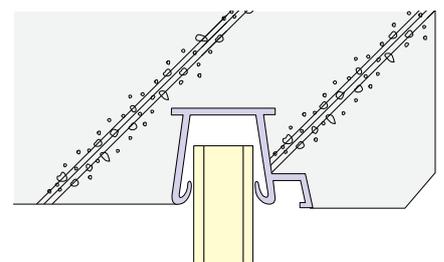
下部ホルダー : C型 レール



横引ドレインの納まり



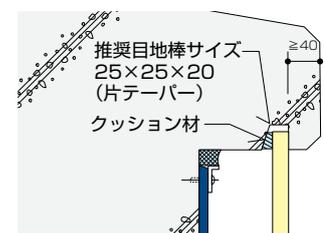
ホルダー方式 : PM25



PM25の効果

- ノロが入らない
- 目地通り（定規性）が出る
- コンクリート側圧による変形を防ぐ
- 水切り効果がある
- 補修が不要

直取付方式 : 水切り目地棒



※下地挙動の吸収やボードのがたつきを防止する為クッション材を切断してお使い下さい。

施工手順

(1) 下部ホルダーの設置

- ・ラムダが鉛直に設置できるように、上部ホルダーから下げ振りを降ろし、C型レールの位置を決める。
- ・C型レールは樹脂アンカーで通リよく固定する。その際、樹脂アンカーの固定位置、長さに留意する。

(2) ボードの切断

- ・ラムダは、C型レールを固定した後、上部ホルダーのかかりしろとC型レールの落とし込みしろを考慮して寸法を決め、切断する。

(3) ボードの設置

- ・ラムダは、上部ホルダーとC型レールに俵鈍（けんどん）式で設置する。

ボードを浮かすことによって、ボード裏面の通気性を良くし、蓄熱防止効果を重点に考えられた工法です

あご下タイプ

ホルダー方式

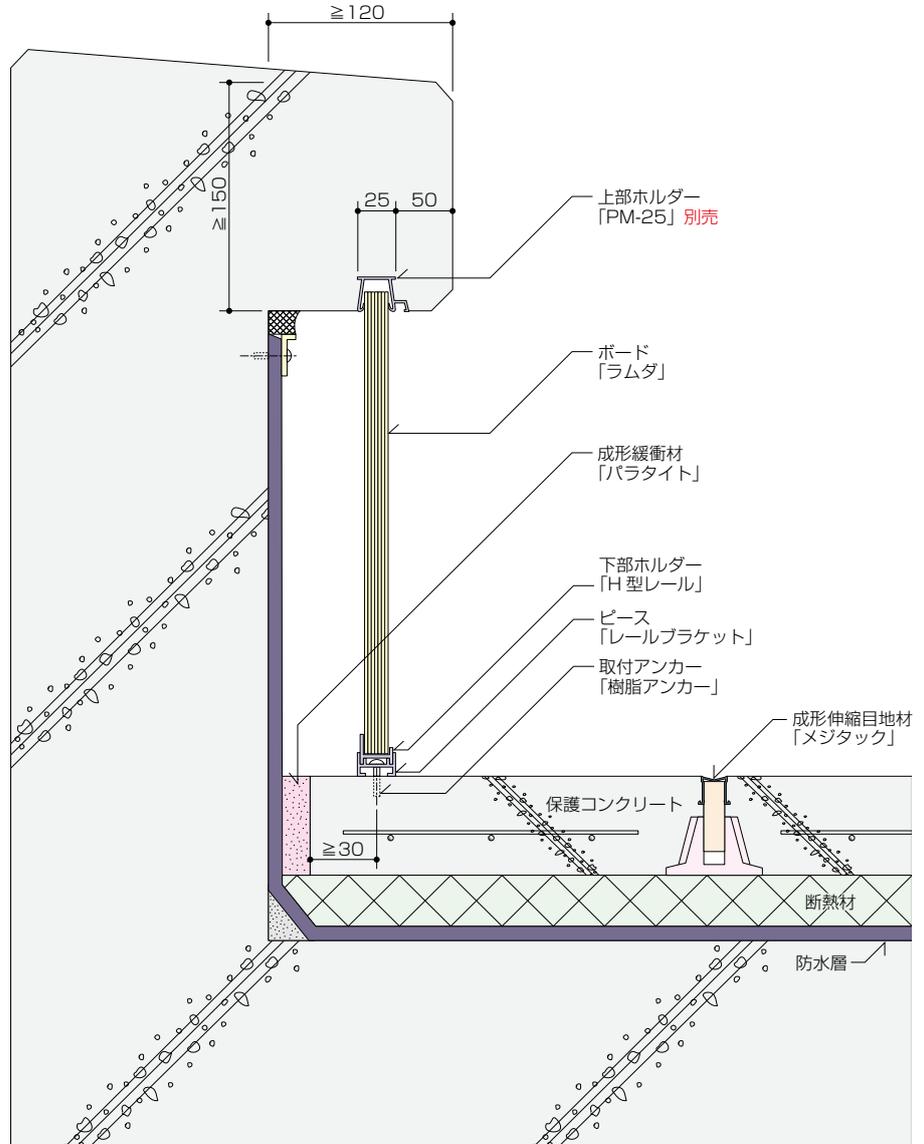
上部ホルダー : ボード用目地「PM25」

下部ホルダー : H型 レール

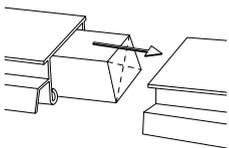
直取付方式

上部ホルダー : 水切り目地棒 25×25×20

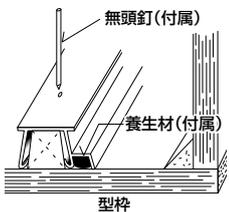
下部ホルダー : H型 レール



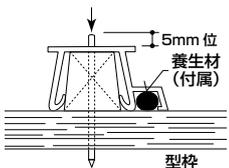
PM25の使用上の注意点



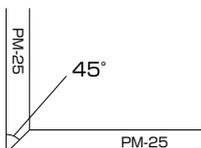
★ ジョイント用として発泡目地棒(付属)はずらしてセットしてあります



★ 水切り部が手前にくるように取り付けて下さい
★ 必ず付属の無頭釘を使用して下さい



★ 無頭釘の頭の部分を5mm程度残すように打込んで下さい
★ 型枠解体時には、付属の無頭釘と発泡目地棒及び養生材は必ず取り除いて下さい



★ 入隅・出隅は、PM25を45°にカットして取り付けて下さい

施工手順

(1) 下部ホルダーの設置

- ・ラムダが鉛直に設置できるように、上部ホルダーから下げ振りを降ろし、レールブラケットの位置を決める。
- ・レールブラケットは樹脂アンカーで固定する。その際、樹脂アンカーの固定位置、長さに留意する。
- ・レールブラケットの溝に、H型レールをかん合させる。

(2) ボードの切断

- ・ラムダは、H型レールを設置した後、上部ホルダーのかかりしろとH型レールの落とし込みしろを考慮して寸法を決め、切断する。

(3) ボードの設置

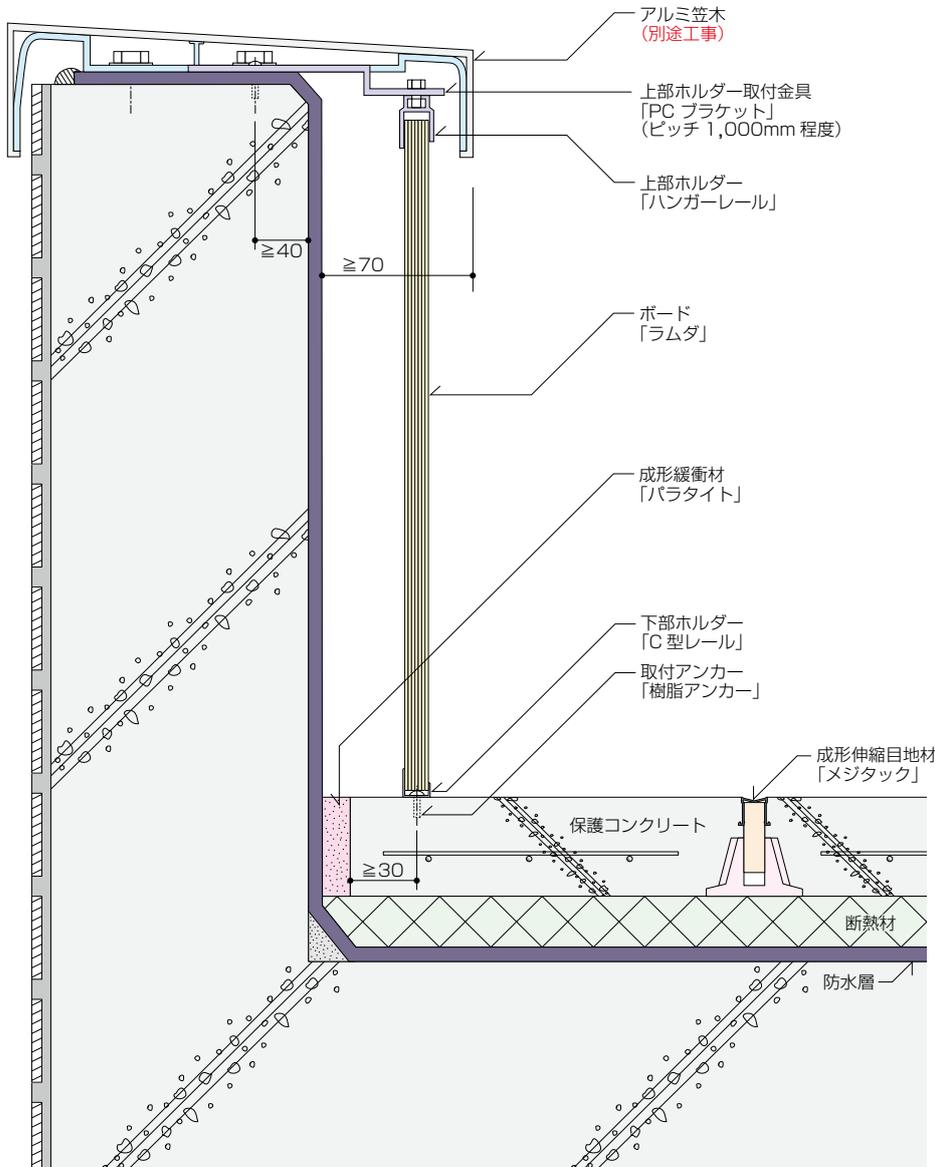
- ・ラムダは、上部ホルダーとH型レールに俵鈍(けんどん)式で設置する。

金属笠木タイプ

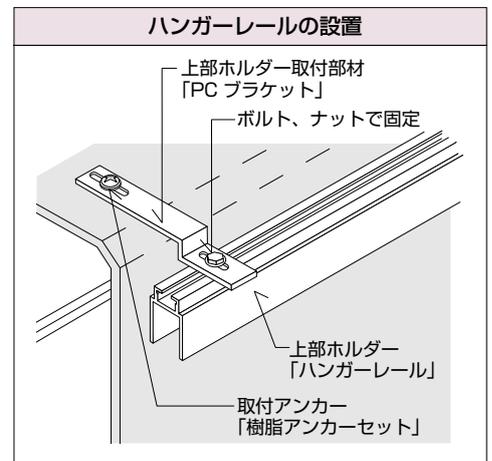
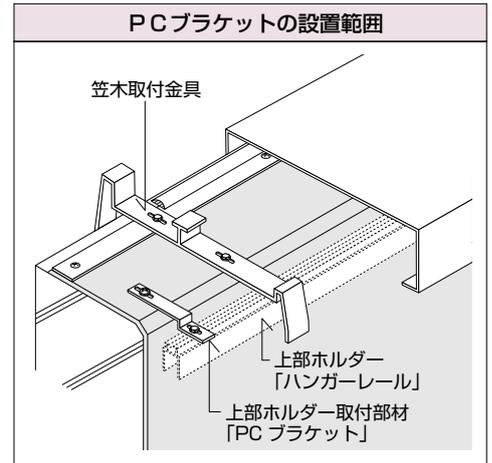
取付金具分離方式

上部ホルダー：ハンガーレール

下部ホルダー：C型レール



※下部ホルダーはH型レールでも対応が可能です。



施工手順

(1) 上部ホルダーの設置

- ・PCブラケットを所定の割付に合わせ、笠木取付金具内部に納まるように、樹脂アンカーセットで固定する。
- ・PCブラケットにハンガーレールを六角ボルト・ナットで固定する。

(2) 下部ホルダーの設置

- ・ラムダが鉛直に設置できるように、ハンガーレールから下げ振りを降ろし、C型レールの位置を決める。
- ・C型レールは樹脂アンカーで通りよく固定する。その際、樹脂アンカーの固定位置、長さに留意する。

(3) ボードの切断

- ・ラムダは、C型レールを固定した後、ハンガーレールのかかりしろとC型レールの落とし込みしろを考慮して寸法を決め、切断する。

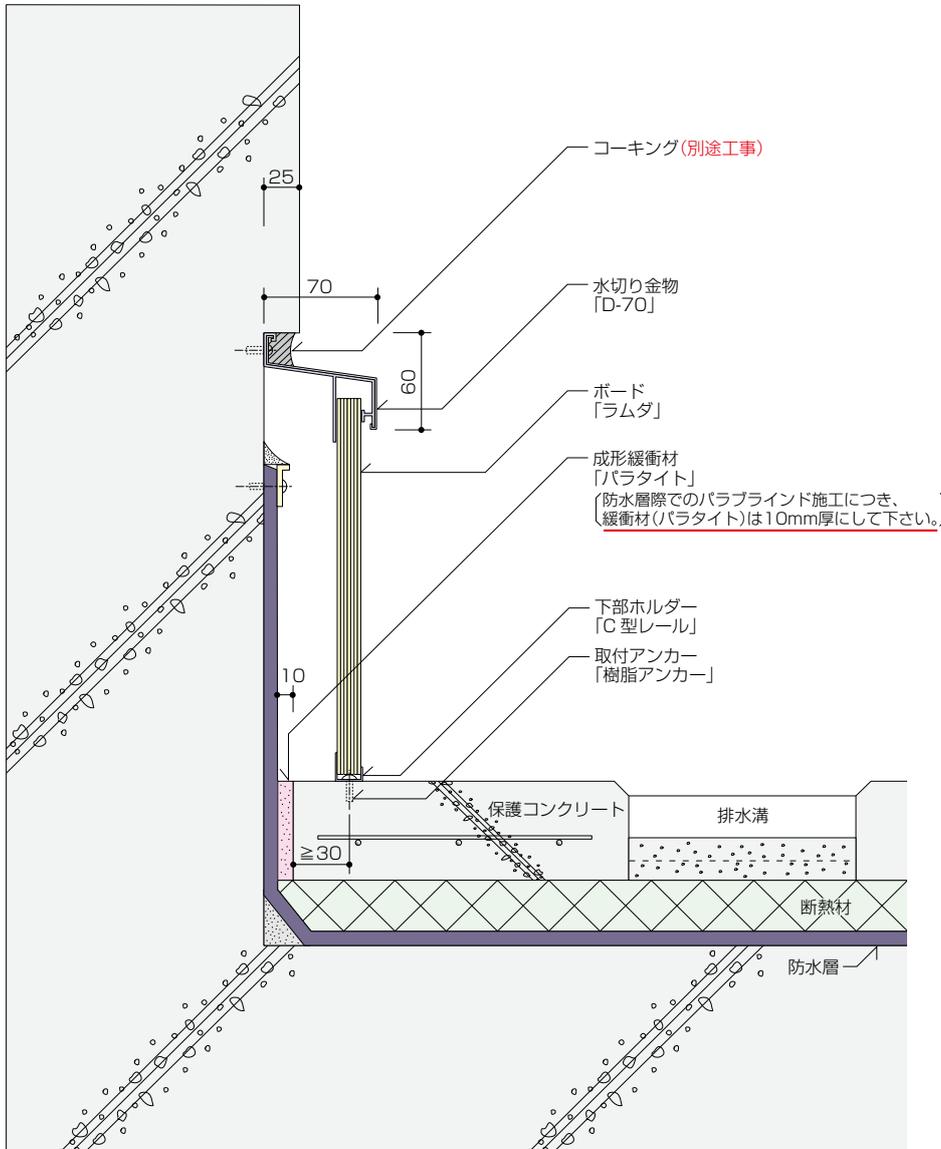
(4) ボードの設置

- ・ラムダは、ハンガーレールとC型レールに俛鈍（けんどん）式で設置する。

手摺支柱の例



水切りタイプ	ホルダー一体化方式	水切り金物 : D-70	下部ホルダー : C型 レール
--------	-----------	--------------	-----------------



※下部ホルダーはH型レールでも対応が可能です。

施工手順

- (1) 水切り金物の設置
 - ・D-70を立上り鉛直面の所定の位置に、樹脂アンカーで固定する。
 - その際、D-70上部のシーリングしろやアンカーの固定位置を考慮し、通りよく固定する。
- (2) 下部ホルダーの設置
 - ・ラムダが鉛直に設置できるよう、D-70から下げ振りを降ろし、C型レールの位置を決める。
 - ・C型レールは樹脂アンカーで通りよく固定する。その際、樹脂アンカーの固定位置、長さに留意する。
- (3) ボードの切断
 - ・ラムダは、C型レールを固定した後、D-70のかかりしろとC型レールの落とし込みしろを考慮して寸法を決め、切断する。
- (4) ボードの設置
 - ・ラムダは、D-70とC型レールに倅鈍(けんどん)式で設置する。



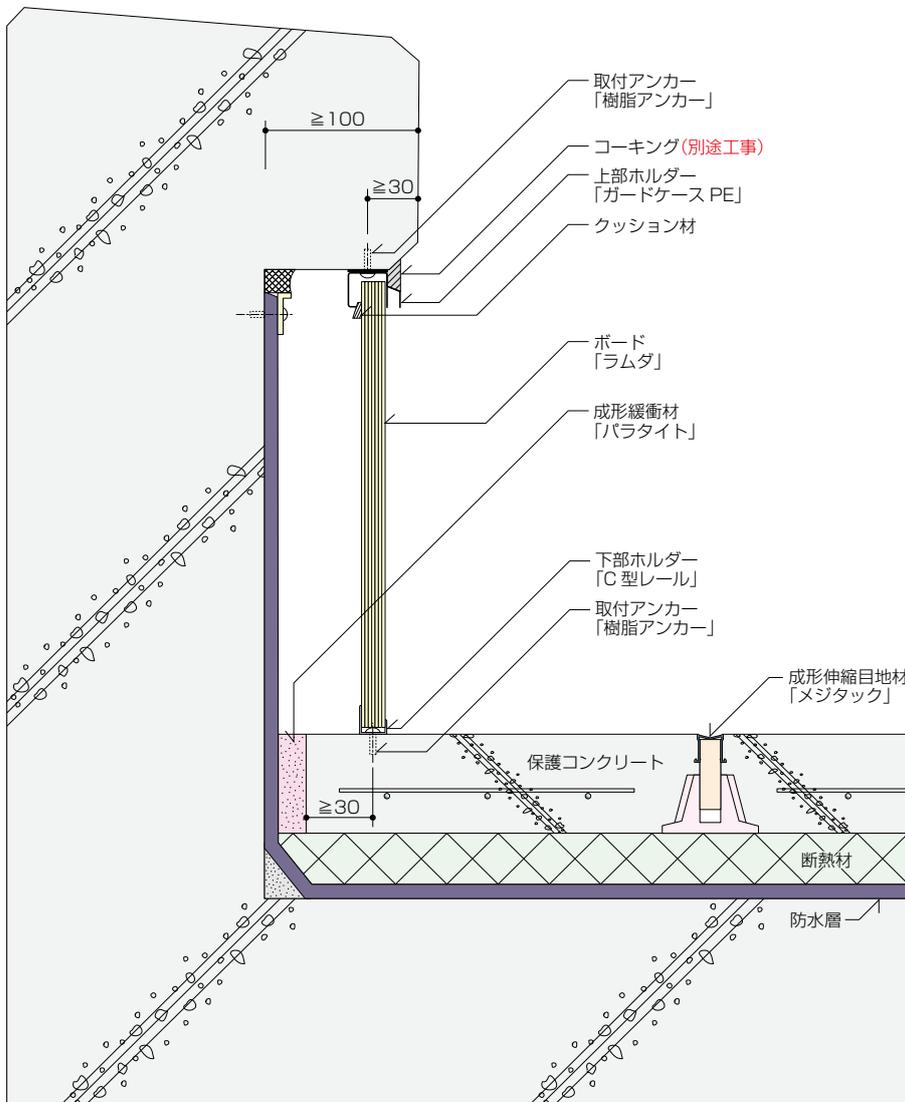
水切り機能を兼ね備えたガードケースPEと組み合わせた、
あご下部に目地が無い場合の工法です

水切りタイプ

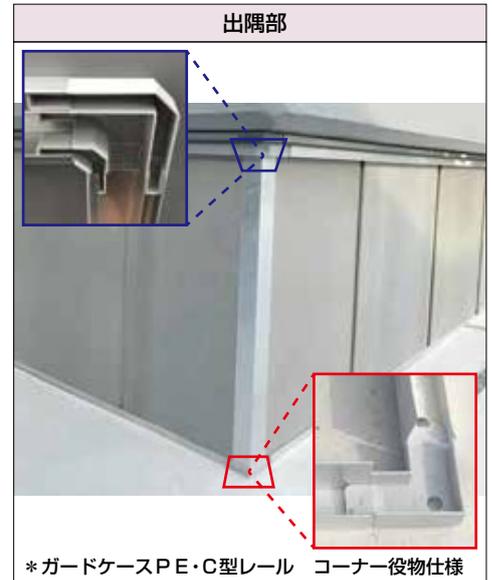
ホルダー一体化方式

上部ホルダー : ガードケース PE

下部ホルダー : C型 レール



※下部ホルダーは H 型レールでも対応が可能です。



施工手順

(1) 上部ホルダーの設置

- ・ガードケースPEをあご底部の所定の位置に、樹脂アンカーで固定する。(水上H寸法≧250の場合)
その際、ガードケースPEのシーリングしろや下部樹脂アンカーの固定位置を考慮する。

(2) 下部ホルダーの設置

- ・ラムダが鉛直に設置できるよう、ガードケースPEから下げ振りを降ろし、C型レールの位置を決める。
- ・C型レールは樹脂アンカーで通りよく固定する。その際、樹脂アンカーの固定位置、長さに留意する。

(3) ボードの切断

- ・ラムダは、C型レールを固定した後、ガードケースPEのかかりしろとC型レールの落とし込みしろを考慮して寸法を決め、切断する。

(4) ボードの設置

- ・ラムダは、ガードケースPEとC型レールに儉鈍(けんどん)式で設置する。

曲面部の施工例



構成部材

名称	上部ホルダー			上部ホルダー取付部材	ボード
製品名	PM25	ハンガーレール	ガードケース PE	PC ブラケット	ラムダ
材質	硬質塩化ビニル	アルミ押出型材	アルミ押出型材	アルミ押出型材	押出成形セメント板
型図					
規格	長さ 2,000mm	長さ 2,000mm 厚さ 1.6mm	長さ 2,000mm 厚さ 1.0mm	長さ 35mm 厚さ 2.5mm	長さ 2,990/1,494mm 厚さ 15mm

名称	水切り金物			
製品名	D-70 本体	D-70 ジョイント板	D-70 コーナー板	D-70 エンドキャップ
材質	アルミ押出型材			
型図				
規格	長さ 2,000mm 厚さ 1.5mm	長さ 60mm 厚さ 1.2mm		

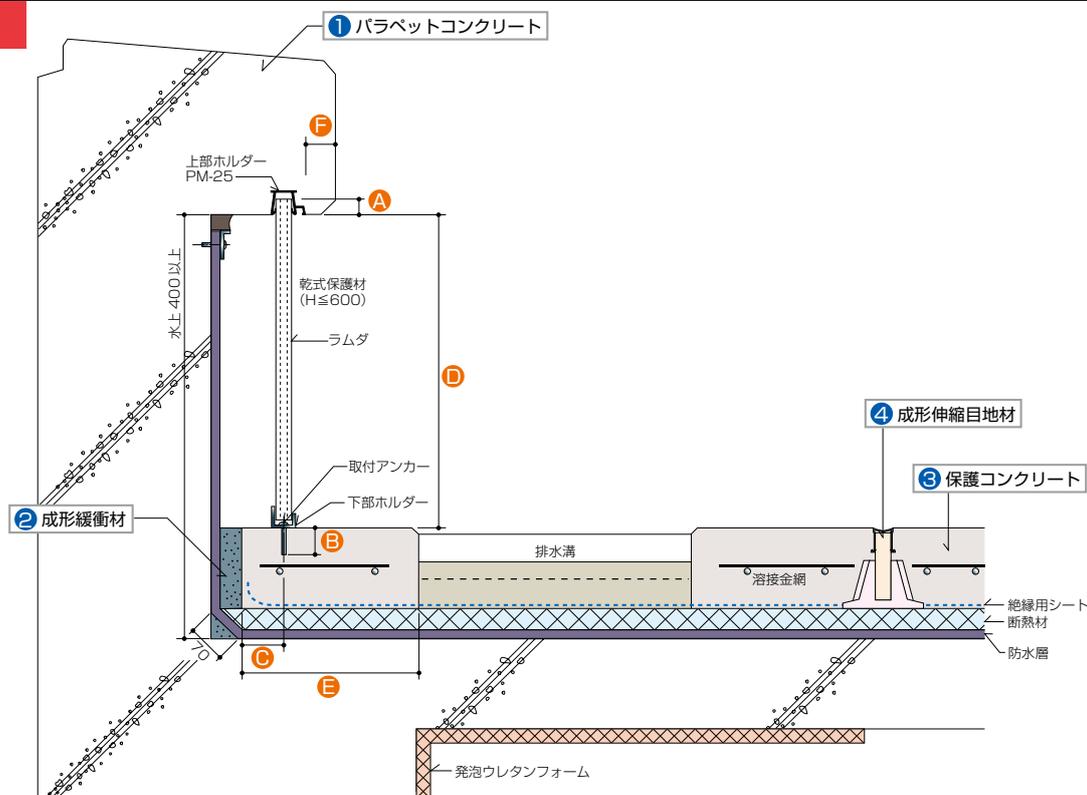
名称	下部ホルダー		ピース	固定金具	取付アンカー	
製品名	C型レール	H型レール	レールブラケット	六角ボルト・ナット・ワッシャー	樹脂アンカー	樹脂アンカーセット
材質	アルミ押出型材	アルミ押出型材	アルミ押出型材	ステンレス	ナイロン / ステンレス	
型図						
規格	長さ 2,000mm 厚さ 1.0/1.2mm	長さ 2,000mm 厚さ 1.8mm	長さ 50mm 厚さ 1.8mm	長さ 12mm 径 M8	スリーブ長さ 35mm スクリュー釘 3.3φ×35	ワッシャー 外形25/内径6 スリーブ 8×40mm スクリュー釘 5.0φ×45

名称	コーナー役物	
製品名	C型レール コーナー材	ガードケース PE コーナー材
材質	ポリカーボネート	ポリカーボネート
型図		
規格	長さ 34×34mm 厚さ 1.2mm	長さ 43×43mm 厚さ 1.2mm

共通副資材

コーナーアングル	クッション材	フリーアングル	Tバー	スペーサー	接着剤
アルミ型材	発泡ポリエチレン	アルミ型材	アルミ型材	樹脂製	ポリウレタン
L=1,820	L=1,000	L=2,000	L=1,497	t=2.0・5.0	320ml

注意事項



- ① 鉛直で通りのよいこと。上部ホルダーが、所定の寸法及び位置に通りよく設置されていること。
- ② アンカー固定部のコンクリートに割れ、欠けが発生していない固定位置が確保される厚さであること。
- ③ 不陸がなく、平滑であり、コンクリートは十分な強度があること。また、下部ホルダー固定部のコンクリート厚さ、及び割れ、欠けが発生しないアンカー位置が確保されていること。
- ④ 立上り入り隅部に直角に設置される目地は、成形緩衝材まで達していること。立上り周辺部にボーダー状に設置する成形伸縮目地は、立上りから所定(600mm程度)の位置に設置すること。

- A ボードのかかりしろは**5mm以上**、10mm程度が望ましい。
- B アンカーの下穴深さは**50mm以内**とする。所定の深さが確保出来ない場合(防水層破損の危険等)は、アンカーの設置本数を増やし、所定の耐力を確保する。
- C アンカー取付位置は**30mm以上**とする。
- D 乾式保護工法の設置高さは**600mm以下**とする。600mmを超える場合は、強度及び取付方法等を検討すること。
- E 排水溝を設ける場合は**150mm以上**離す。
- F 上部ホルダーの取付位置はあご端より**40mm以上**とする。

防水立上り部乾式保護工法(設計・施工)技術指針
防水立上り部乾式保護工法研究会 編

評価書



パラブラインドは一般社団法人 公共建築協会の評価認定品です。

単位:mm

製品名	種類	厚さ	幅
パラブラインドPA	窯業系パネルーI類	15	303
パラブラインドPB	窯業系パネルーI類	15	303
パラブラインドPC	窯業系パネルーI類	15	303
パラブラインドPD	窯業系パネルーI類	15	303
パラブラインドPE	窯業系パネルーI類	15	303

⚠️ カタログ上の注意点

- 商品改良のために製品仕様・外観は予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 印刷物と実物とは多少外観が異なることがありますので、あらかじめご了承ください。

免責事項

- 万一不具合等の問題が発生した場合には、下記の免責事項をふまえた上で対応させていただきます。
- 本カタログ及び当社が発行した技術資料等に記載された事項に反した設計、施工、監理及び取り扱いが原因となって不具合が発生した場合。
 - 本カタログに純正の部材・部品、もしくは材質・材料などの指定がある場合にそれを使用しないことにより不具合が発生した場合。
 - 当社製品以外の部材の不良により不具合が発生した場合。
 - 入居者または第三者の故意、過失により不具合が発生した場合。
 - 天災地変、または地盤、周辺環境、公害などに起因するラムダの損傷。
 - 通常の経年劣化による汚れ、変色、カビによる汚染が発生した場合。
 - 伝い水により汚れの付着など外観上の変化があった場合。
 - セメント板特有の色ムラ。
 - 施工当時実用化された技術では予測することが困難な現象により不具合が発生した場合。
 - 初期に損傷ないしは不具合を発見したにもかかわらず、長期間放置したために生じた拡大損傷。
 - 瑕疵(かし)を発見後、速やかに届け出がなされなかった場合。



本社 〒196-0022 東京都昭島市中神町2丁目21番9号 TEL:042(545)6002 FAX:042(545)6008
東日本事業部 〒196-0022 東京都昭島市中神町2丁目21番9号 TEL:042(545)6335 FAX:042(545)6008
西日本事業部 〒564-0043 大阪府吹田市南吹田5丁目21番10号 TEL:06(6330)1512 FAX:06(6330)1541

URL <https://www.draf.co.jp>

2104-1000-P8-V2